

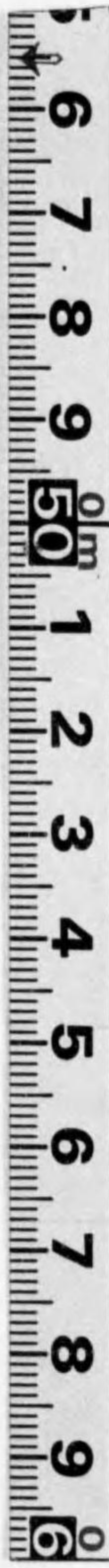
142  
478

南支那及南洋調査第九十輯

馬來半島に於ける邦人經濟事情



臺灣總督官房調査課



始





凡 例

本書は、華南銀行の調査に係るものをば、同行の承認を得て上梓せるものである。

本書は、事務閲覧の便を計り印刷を以て筆寫に代へたるに止まり敢て公刊せんとするものでない。

昭和五年十一月

臺灣總督官房調査課

發行所寄本



1424-478

馬來半島に於ける邦人經濟事情 (目次)

第一、職業別に見たる經濟事情……………一

一、護謨栽培……………一

二、雜貨商……………三

三、醫師、齒科醫……………五

四、寫眞業……………五

五、ホテル業……………五

六、娼家……………六

第二、都市別に見たる邦人經濟事情……………一八

一、ラピス……………一八

二、スガマ……………一九

三、バト・アナム……………一九

四、スレンバン……………二〇

五、	コーラ・ビラ	二六
六、	コーラ・ランボ	二七
七、	ラソ	二六
八、	コーラ・クボ	二六
九、	キリリン	二九
一〇、	イボウ	三一
一一、	カンパール	三三
一二、	シテアワン	三三
一三、	タバ	三四
一四、	タイビン	三五
一五、	ビナ	三七
一六、	ポト・スイランナム	四三
一七、	クラング	四三
一八、	ポト・デクソン	四四
一九、	マラツカ	四四

二〇、	タンビン	四六
二一、	モア	四六
第三、其他の各地に於ける邦人護謨園現況		
一、	キリリン地方邦人護謨園	四六
二、	タバ地方邦人護謨園	四九
三、	スガマ地方邦人護謨園	五〇
四、	バト・アナム邦人護謨園	五一
五、	タイビン地方邦人護謨園	五二

## 馬來半島に於ける邦人經濟事情

### 第一、職業別に見たる邦人經濟事情

馬來半島に於ける邦人の經濟的發展は、之を職業別に見るときは、左記の如し。

- 一、護謨栽培
  - 二、雜貨商
  - 三、醫師、齒科醫
  - 四、寫眞業
  - 五、ホテル
  - 六、娼家
- に大別することを得。

#### 一、護謨栽培

馬來半島に於ける邦人の代表的事業は護謨園の經營にして、其の投資額も一時五千萬圓と稱せら

第一、職業別に見たる邦人經濟事情

れたるが、一九二五年、一九二六年の護謨好況當時の前後に互り邦人園の賣却せらるゝもの相繼ぎ、今其の主なるものを掲記するに次の如し。

會社名	總面積	植付面積	生産面積	賣却價格
日本護謨株式會社	七、六〇二	六、六五〇	三、三〇〇	二、七〇〇、〇〇〇
臺灣拓殖株式會社	一、三〇〇	一、二〇〇	六九五	五〇〇、〇〇〇
南進公司	一、〇〇〇	一、〇〇〇	六〇〇	四八〇、〇〇〇
鈴木護謨園(二樹園)	二、三六一	二、〇二六	一、四六〇	一、一〇〇、〇〇〇
日新護謨株式會社	一、〇四二	一、〇二〇	九七七	六二五、〇〇〇
古河合名會社	二、八〇四	二、八〇〇	二、六六八	一、九〇〇、〇〇〇
南興殖産株式會社	八、四二五	六、一七五	四、二〇〇	四、五〇〇、〇〇〇
柔佛護謨株式會社(ラヤン園)	一、九九九	五一一	三〇〇	一三五、〇〇〇
亞南公司(パト・パハ、パナム園)	二、九七一	一、六〇〇	九〇八	一、八一五、〇〇〇
熱帶産業株式會社(スンガイ・パハン園)	七、四六一	七、四六一	五、四二三	四、八七二、〇〇〇
舊聯合馬來護謨株式會社(クレマ、クルアン、キルリン園)	五、二五一	四、六〇四	一、四六一	一、七五〇、〇〇〇
計	四二、二一六	三五、〇四九	二一、九九二	二〇、三八〇、〇〇〇

其他中小個人護謨園をも合するとき、實に四萬五千英反(未開墾地をも含む)にも達すべき邦

人園は、大約二千一百万弗を以て外人に賣却せられ、馬來半島に於ける邦人護謨園の凋落を思はしめたるが、三五公司、馬來公司、南亞公司、熱帶産業株式會社、南洋護謨株式會社等の大園を始めとし、其他の中小園の殘留するもの尙尠からず、今昭和五年五月現在に就て見るに左の如し。

馬來半島邦人護謨栽培業者一覽表

資本金	會社名又は園名	總面積	植付面積	採收面積	昭和四年度生産量
三百五十萬圓	亞公司	一三、八二五	一〇、〇九六	七、一一九	二、三八九、七一〇
六百五十萬圓	熱帶産業株式會社	五、九三六	三、五一五	二、五九九	九二〇、三三二
四百七十萬圓	馬來公司	二一、〇六八	七、四〇一	五、一六四	二、二九五、〇六〇
二百萬圓	南洋護謨株式會社	三、〇八九	三、〇五一	二、八九五	八二六、六六四
二百萬圓	南洋護謨株式會社	三、〇八九	三、〇五一	二、八九五	八二六、六六四
二百萬圓	南洋護謨株式會社	二、八四六	二、七〇七	一、六五〇	五九五、四四八
二百萬圓	南洋護謨株式會社	一、九七五	一、八一九	一、三四〇	二九四、〇六五
二百萬圓	南洋護謨株式會社	一、四七五	一、四〇九	八八〇	二五三、五三四
五十萬圓	南進公司	一、〇六〇	九六六	六七五	三三六、〇〇六
五十萬圓	南進公司	四八〇	三八〇	三八〇	九六、〇〇〇
三十萬圓	南進公司	二二、四九二	一七、八三五	一七、〇八八	六、六三七、三〇三
千圓	護謨園	三、六三〇	三、二四六	二、〇五六	六五五、〇〇〇
秋田護謨園	護謨園	五七四	五七四	五六二	二七二、五三四

第一、職業別に見たる邦人經濟事情

小岩井	小岩井、廣谷、西部共同	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
細浪	細浪	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
鳥田	鳥田	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
大平	大平	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
吉兼	吉兼	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
糸田	糸田	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
中原	中原	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
栗秋	栗秋	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
池崎	池崎	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
天南	天南	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
佐竹	佐竹	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
田中	田中	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
江浦	江浦	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
金子	金子	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
中村	中村	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
龍田	龍田	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
今村	今村	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木
佐藤	佐藤	一、四九三	一、四二	一四二	(二)年木

中央	中央	一、三九七	一、三九七	七九四	四〇五、九四一
女羅	女羅	一、〇七〇	一、〇七〇	四五六	一九六、七一八
速水	速水	一、〇〇三	一、〇〇三	四五六	一〇四、四八八
小西	小西	一、〇一九	一、〇一九	五〇〇	九〇、〇一四
菅原	菅原	八二七	八二七	三五〇	二四、七二四
越後	越後	五一五	五一五	二〇〇	(三)年木
日本	日本	二五三	二五三	一五〇	九三、一七九
原口	原口	一八一	一八一	一五一	四八、〇〇〇
得村	得村	三二六	三二六	一三八	六二、一〇〇
三笠	三笠	一五八	一五八	一三〇	推定量
田上	田上	三八七	三八七	一五〇	推定量
石橋	石橋	一八〇	一八〇	一五〇	五二、五〇〇
山川	山川	八一五	八一五	一五〇	推定量
東亞	東亞	二六五	二六五	二六五	六〇、八六四
福田	福田	二三四	二三四	二三四	三六、〇〇〇
大山	大山	一三一	一三一	一〇〇	五六、〇〇〇
荒木	荒木	二二	二二	二二	一二、一六六
山口	山口	四九	四九	四九	一七、六〇〇
坂口	坂口	一八一	一八一	一八一	推定量

第一、職業別に見たる邦人經濟事情

大	矢	下	田	松	今	絶	小	木	鈴	守	久	増	英	監	増	萩	保	長
場	野	別	中	村	澤	川	松	村	木	田	保	田	木	岡	原	坂	田	
ゴ	ゴ	府	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	
一一八	一九	二〇	五〇	八八	八〇	四二	三九	五〇	二八	二七	一五	一〇	二五	四〇	八	九〇	二三	
一一八	一九	二〇	五〇	八八	八〇	四二	三九	五〇	二八	二七	一五	一〇	二五	四〇	八	九〇	二三	
八〇			二	六〇	六〇	三七	二七	一五	二八	一八	五		二					
推定量			同	實際量	推定量	同	同	同	同	同	同		推定量		同	同	同	
三六、〇〇〇			九〇〇	二六、〇四九	二七、〇〇〇	一六、六五〇	一二、一五〇	六、七五〇	一二、六〇〇	八、一〇〇	二、二五〇		九〇〇		一、三五〇	四〇、五〇〇	一〇、三五〇	
(三年乃至五年末)			(五年末)															

第一、職業別に見たる邦人經濟事情

石	島	長	吉	方	村	村	竹	竹	河	川	森	坂	井	川	中	井	志
本	田	谷	村	木	上	里	内	内	野	崎	川	井	上	原	村	上	村
ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園
三五	三〇	二〇	二七	二五	二〇	一七	五二	一八	二六	七八	二二	四〇	四五	一一	一〇	九九	六二
三五	三〇	二〇	二七	二五	二〇	一七	五二	一八	二六	七八	二二	四〇	四五	一一	一〇	九九	六二
五																	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二、〇〇〇	八、〇〇〇	一〇、八〇〇	一〇、〇〇〇	八、〇〇〇	五、二〇〇	一八、五〇〇	四、五〇〇	一三、〇〇〇	三九、〇〇〇	一一、〇〇〇	二四、〇〇〇	一六、〇〇〇					
(四年末)																	



福	濱	澤	芝	大	田	小	荒	竹	豊	北	片	太	北	原	鈴	奥	末	松	
富	口	田	下	石	尻	林	木	田	田	川	山	田	住		木	根	藤	田	
ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	七	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	
六〇	二五三	三〇	一五	六五	九六	一八	一二	一八	一八	一〇	一四	二〇	四九	九	三	五〇	一〇	二〇	
六〇	二五三	三〇	一五	六五	九六	一八	一二	一八	一八	一〇	一四	二〇	四九	九	三	五〇	一〇	二〇	
四六	三〇	一五		八〇	一八	六	一八	一八	一〇	一四	二〇	三五					一〇	二〇	
																		同	同
同	同	同		同	同	同	同	同	同	同	同	同							
一六、〇〇〇	九、〇〇〇	四、五〇〇		二四、〇〇〇	五、四〇〇	二、四〇〇	七、二〇〇	七、二〇〇	四、〇〇〇	五、六〇〇	八、〇〇〇	一五、七五〇					四、五〇〇	九、〇〇〇	
(三年木)				(五年木)															

即ち

倉	小	福	田	友	宮	計
狩	林	田	島	岡	田	
ゴ	ゴ	一	ゴ	ゴ	ゴ	
△	△	△	△	△	△	
圃	圃	圃	圃	圃	圃	
一八	三七	一〇	一〇	一八	四八	九三、一三六
一八	三七	一〇	一〇	一八	四八	六二、〇八六
						四七、九九九
						一七、七六六、四四九
						(五年半木)
						(同)
						(同)
						(同)
						(同)
						(同)

總面積 九三、一三六英反  
 植付面積 六二、〇八六英反  
 採收可能面積 四七、九九九英反  
 昭和四年度一箇年産額(概算) 一七、七六六、四四九封度

に達す。其投資額三千五百萬弗と唱へられ、依然として南洋に於ける邦人事業の大宗たる地位に在るのみならず、或は新規土地拂下により或は既有未開墾地の手入れにより著々事業の擴張發展を期しつつあり。但し近時の護謨價不味と内地財界不況により有利賣逃げ計畫中のものもあれど、大勢には左したる影響なかるべし。

唯こゝに注目すべきは、最近の護謨安による小園の維持經營困難の問題なり。

今日の護謨相場(二十五仙)にても負債なきものは僅々五英反の小園主にして、専ら園收入により依食するものと雖も、その園が英反當り四百封度前後の年産量を有する採收林ならば生計の維持は可能なり。今之れが採算を見るに

五英反年産量 <small>一英反四百封度 一封度二十五仙</small> 賣上金	五〇〇弗
牛産費一封度當り十二仙	二四〇弗
差引利益金	二六〇弗

即ち一箇年純益二百六十弗を有し、他方副業とせざる迄も自園を利用し自家用として一年中可能なる野菜の栽培、養鶏等を營み得べく、亦熱帯地の特色として衣服費は極めて僅少にて事足り、日常生活品として購入を要するものは米、醬酒、味噌、鹽等に過ぎざるを以て、右五英反よりの收入により十分生活は維持する事を得べく、十英反以上の優良園の所有者となれば事實幾分の貯蓄さへ可能なり。然るに若し此等小園主に負債ありとせんか、今日の護謨相場にては生計の維持すら困難なる。

小園に對する資金の供給者は殆ど全部チツテにして自然利息は一割五分乃至三割の高率なり。英反當り年百封度を産する園ならば現在にても時價四百五十弗と見ることを得べし。然してチツ

テは時價の八掛、場合に依ては九掛迄も融通を爲す。若し五英反の所有者が時價二、二五〇弗(五英反四百五十弗)の園に對し、七掛一、五〇〇弗利率二割(据置)を以て借入れたりとせんか、一箇年の支拂利息三百弗に達し、園よりの全收入を投じても利息の支拂さへ出來ざること、なる。其結果は如何になるべきや。云ふ迄もなく、唯一の生計の源泉たる護謨園をチツテに奪取さるゝのみなり。南洋發展の雄圖を抱き渡南馬來半島の一角二五英反十英反の土地を手に入れ苦心慘憺一の小園主たるを得たる邦人にして、このチツテよりの負債の爲め汗と脂の結晶とも目すべきその園をチツテに奪取されたるもの、又は現にその悲運に臨みつゝあるもの、決して尠からざるは邦人南洋發展の爲め遺憾千萬なり。

何が彼等をしてチツテより高利の借入れを爲さしめたるか。日本人の特長として自ら鬱蒼たる森林を伐木開墾植付を爲し、爾來五年六年の長日月延びよ延びよと育て上げたる樹が、今や天日をも蔽ふ見事なる護謨園と造り上げられたるものは固よりの事、馬來支那人より買入れたる園にして、苦心して手入れを施したる甲斐ありて、當初の荒園も今や見違へる程見事なる護謨園となりたりと云ふ場合、其園を愛するの餘り好況時如何なる高値の買手つきても賣り放つ勇氣なく、却て其の園を基として更に附近に園を買進みたるものなり。

最初の園に付何等の負債なかりしものも、折柄のゴム價の好況に眩惑せられ附近に更に新園を求

めんが爲め、こゝに其所有園を擔保としてチツターより高率の借入れを爲すに至る。然かも此場合擔保園に對し最大限の借入れを爲すを例とす。

護謨が封度一弗にも達せる場合は、チツターの高率も恐るゝに足らず。然し乍ら、護謨價の好況は其期間短かりし爲め、こゝに悲劇の端を發するに至れり。

幸にして、借入金により買入れたる新園が採收林の場合は、直ちに收益を擧げ得るを以て、借入金額の多寡によりては利息支拂出來得べきも、不幸にして採收期に數年を要する若木園の場合は、これより何等の收益なきのみならず、常に相當の手入費の支出を要す。

ゴム價は値下り、新園には手入費を要す。チツター借入金利息の支拂愈々困難となり、他方新規買收園は、好況時比較的高價に買入れたるものに付今之を賣急ぐことは、見す見す多大の損失となるを以て容易に手放し得ず、次第に金繰困難の深間に陥り、終にチツターに押へられ或は押へるが如く押へざるが如き彼等の態度に日夜焦慮の日を送る悲惨の狀態に立至る。

支那人が、己れが育て上げたる園を好況時思ひ切りよく之を處分し、其の代金を以て更に新園を作ら上げ、漸次此の方法を巧妙に運び、斯くして今日多數の成功者を作り上げたるに反し、邦人小園主は徒らに園に愛著して好況時に有利處分し得ざりしのみならず、チツター資金を誤用して園の擴張を計り、結局多年の苦心をして水泡に歸せしむるものあるに至りたる事は、邦人小園主の考慮

を要する所とす。

自己の園に限りなき愛著を持つことは邦人の美しき心の露れなれども、今日迄邦人小園主より成功者を目すべき程の者唯一人現れざるのみならず、大部分の小園主がチツター負債に悩まされつゝあるは、多く右の事情に基くものなり。

愈總生産量の八割を擁して五月休採に決定し、若し其れにても效果なき時は日曜休採、更に土曜休採迄突き進まんとするもの、如くなれど、ロンドン七萬五千噸、リバープール二萬五千噸、アマリカ約十五萬噸、産地十五萬噸合計約四十萬噸即ち一箇年世界消費量の約半ばに達するストックを擁し、他方砂糖、綿花、石炭、小麦等、凡有る世界的物産と云ふ物産悉く不況のドン底にある今日、獨り護謨然かも再製の許さるゝ、弱點を有する護謨に限り、人為的価格釣り上を策するとも到底左したる期待の出來得べき筈なく、自然邦人小護謨園主の苦境愈々甚しかるべく此際早急適當の救濟方法を講せざれば、其の渺からざる部分は拋棄の不得止るに至ることを恐る。

之れが詳細に就ては、都市別邦人經濟事情の項に譲る。

## 二、雜貨商

今日半島到る所に *Made in Japan* の商標を見る。此の盛況は多年不便不自由危險を冒して、邦品の販路開拓の尖端に立ち奮闘し來れる半島邦人雜貨商の努力に負ふ所大なるものあり。

然るに、排日ポイコットの旋風に引續き不景氣風に見舞はれ、賣上極度に減少したるのみならず賣掛代金固定し、他方卸元よりは送金を督促せられ金繰りに多大の困難を來し、現に新嘉坡邦人卸商との間に紛争を惹起するものすら生ずるに至れり。

彼等の取扱商品は、一部は直接日本より他は新嘉坡邦人雜貨商より引く。

従前は相當附近地方の支那人、馬來人等に卸賣りしたるも、現在は専ら小賣商として立つ。

馬來半島に於ける排日ポイコットは既に終熄したるも、爾來支那人の顧客は邦人商店の門に跡を絶つに至れり。

値段の點に於て、邦商は到底支那商人と競争出來ざるのみならず、今日邦商の手にあるものは、美術品、裝飾品等の特種のものを除き、大抵支那商人之を取扱ひ居るを以て、排日の如何に不拘小賣商として今後支那人を顧客に期待することは全く望なきに至れり。

彼等も既に其覺悟にて、排日ポイコット以後は極力西洋人、馬來人の顧客吸收に努め、特に西洋人との取引は比較的高級品なる關係上、店によりては漸次歐洲品をも取扱ふに至れり。

次に、馬來人は貯蓄心極めて薄き上に引續く謬誤不況の爲め今日其購買力極めて貧弱なりと雖、馬來半島人口三、三五八、〇五四名中一、六五一、〇五一一名（一九二一年人口統計による）即ち約半ばを占め、且つ近年素足にサロンの生活より漸次文化生活に入らんとしつゝある馬來人なる事を思は

ば、彼等の趣味嗜好を研究し、此方面の顧客吸收に努力する事は半島に於ける邦商として最も緊要事なりとす。

### 三、醫師、齒科醫

馬來半島に於ける邦人として、最も堅實なる地歩を占めつゝ、あるは醫師、齒科醫なり。排日ポイコット當時は門前雀羅の状態を示したるも、醫術に於ける邦人ドクトルの信用は他外人ドクトルの追従を許さず、ポイコット終熄と同時に漸次恢復今日は殆ど舊に復したり。

但し富豪階級中には、今尙邦人醫院の門を潜る事を憚り居る者あれども早晚此氣分も除去せらるる事と信ず。

### 四、寫真業（撮影並に器械材料商）

半島各地に專業として、或は兼業として存在する寫真屋はその數尠からざれども、財的に微力、加ふるに目下の不況の爲め甚だ不振なり。

### 五、ホテル業

半島到る所に存在する邦人經營のホテルは、總て日本に於ける所謂曖昧若くは待合にバーを加味したるが如き特殊の組織にして、各國人を常客とす。こゝに出入する婦人も洋の東西色の黒白に及ぶ。

那人馬來半島旅行客も、政府經營に係る Rest House が市内に遠く用を辨するに不便なる爲め、不得止右ホテルを利用すれど、もともと旅行客を目的とするものに非ざるを以て、食事の準備其他旅館としてのサービスの必要なく、若干のビール、其の他の飲料水、煙草等を置くに過ぎず。使用人も支那人若くは馬來人のボーイー、二名、女中一、二名にて足り、僅少の資金にて開業出來得る關係上、各地に此種ホテルを見るに至りたるものなり。然して其のホテルの性質上、婦人の經營にかかるものは男子の夫れより賑ひ、不況の今日に拘らず相當利得し居るもの、加し。

#### 六、娼 家

馬來半島に於ける邦人の發展は、會社筋の護謨園經營を除いては大體所謂娘子軍の進出に附隨し漸次經濟的地位を固むるに至りたるものなるが、其の娘子軍も先年山崎帝國領事の手により廢娼斷行されたるに、打續く不景氣の爲め急速に其數を減じ、今日尙スレンバン、コーラ・ランボ、イボウ、タイビン等にては、公娼の形式を以て嫖客を迎へつゝあるもの若干あれど、之等のものも當局の命により五月末日を以て一掃せらるべし。

先年廢娼斷行當時は、半島に於ける邦人經濟に甚大の影響を與へたるも、今日殘存娼婦は其數も尠く且多少共貯蓄ありたるものは當時歸朝、若くは適當の配偶者を得て足を洗ひ、今日の殘留者は貯蓄もなく亦配偶者も見出し得ざりし爲め、不得止引續き賤業に従事し居る次第にて、年齢も四十を越へし。従て五月末日を以て營業禁止せらるれども、其他の邦人經濟界には殆んど影響を與ふることなからるべし。

公娼禁止後も、彼女等は恐らくは私娼の形を以て留まるべきも、年齢の關係もあり、且つ今日は此種婦人の新渡來不可能なるを以て、多年馬來半島各地に咲き亂れ、邦人經濟的發展の前驅をなしたる所謂大和撫子娘子軍も早晚自滅し去るべき運命に在り。

### 第二、都市別に見たる邦人經濟事情

#### (一) ラオス (Laos)

F. M. S. R. 本線に沿ひ附近護謨園の中心都市たり。市内には在留邦人なきも、同驛より三哩の地點に中央柔佛護謨公司園あり。

同公司は、舊聯合馬來護謨株式會社(昭和二年馬來護謨公司に合併せらる)關係の有志五十八名の出資にかかる、ものにして、出資金額三十萬弗内拂込濟二十萬弗に達す。

園の狀況左の如し。

- 一、總面積 一、三九七英反
- 二、樹齡別による園區分
  - 三年木 四〇〇英反
  - 二年半木 一八二英反
  - 一年木 六七八英反
- 植付中 一三七英反
- 三、苦力

目下支那人苦力七〇名を使用す。全部請負にして、之れを日給に換算するときは一人名日約九十仙となる。

#### 四、園の狀態

同地方は、土壤最も護謨樹に適し本園のゴム樹發育狀態良好なり。園の手入れも非難すべきものなく、目下カバー・プラントとしてカルポコニウムを培植しつゝあり、將來期待し得べき園と認む。

#### (二) スガマ (Sagamat)

同地には、北川正長氏十五年前より北川醫院を經營し、専ら支那人を相手として順調に發展し來れるが、先年ポイコットの爲め患者皆無となり苦境に陥りたるも、昨年五月頃ポイコットも大體終熄し漸次支那人患者を見るに至れり。

同地には、尙北川氏並に豊田、片山、太田諸氏により護謨園合計約五十英反經營せらる。北川氏以外の三氏は専ら護謨園のみに依食する次第なるが、目下の護謨價不況の爲め苦心しつゝあり。

#### (三) バト・アナム (Batu Anam)

同地には邦人三名合計約三十英反の護謨園を經營す。廢娼以前には同地に約二十軒の娼家あり、百人前後の娘子軍活躍したるが、今日は完全に廢娼せられ、當時の娼家經營者の内右三名同地に留

まり護謨園經營に従事し居る次第なり。

(四) スレンバン (Seranban)

ネグリ・スミラン州の首府にして人口約二萬、こゝに在留する邦人約百六十名(ネグリ・スミラン州を通じては約三百名)に達す。之れを職業別に見るときは左の如し。

- 一、護謨栽培業者 會社 一、個人 十四名
- 二、醫師 二名
- 三、齒科醫 四名
- 四、理髮店 二軒
- 五、雜貨店 二軒
- 六、寫真館 三軒
- 七、ホテル 二軒
- 八、飲食店 五軒
- 九、自動車附屬品及油販賣 一軒
- 十、貸自動車並に修繕業 三軒
- 十一、洗濯業 五軒

- 十二、大工職 三名
- 十三、洋服店 一軒
- 十四、マツサーヂ 二名
- 十五、娼家 四軒 (娼婦十五名)

同市は古くより邦人栽培業者の活躍せる土地にして、大正十年資本金五百萬圓、拂込金三百萬圓を以て設立せられたる聯合馬來護謨株式會社は、當時の邦人小園主を糾合して造り上げられたるものなり(同社は、大正十四年十二月資本金二百萬圓、拂込金百二十萬圓に減資せらる)。

右聯合馬來護謨株式會社も、昭和二年十一月株式會社護謨公司に合併せられ、當時の小園主は今日馬來護謨公司株主として間接に護謨栽培事業に干與する次第なるが、こゝに注目すべきは園價に比し多額負債を有したる者は論外として、負債なき者若くは僅少の負債に過ぎざりしものは、ゴム價今日の相場にても自己所有園として自ら直接經營に當る時はそこに安定を得、尙多少の貯蓄さへ可能なるべきも、會社株主となりては配當期以外には何等の收入をも齎らざるのみならず、往々會社が無配を餘儀なくせらるゝ結果、配當金のみにより衣食する者は株の賣喰ひによるの外なく、然かも如斯時期には株價も最低位(解散價値に比し遙かに低位にあるを常とす)にあり尠からざる損失となる。

今日より見るときは、負債なき者若くは負債僅少に過ぎざりし小園主が會社に合併せられしことは、會社の状態を良化せしむる上に大なる效果ありたるも、當人の經濟的立場よりするときは決して賢明の策にはあらざりしなり。

現在馬來護謨公司の外、同地邦人にして小園主として立つもの尙十四名 二、三五三英反（未開墾地を含む）に及ぶ。

(イ) 株式會社馬來護謨公司

- 一、資本金 四、七〇〇、〇〇〇圓
- 一、拂込済資本金 二、八〇〇、〇〇〇圓
- 一、拂下總面積 二一、〇六八英反
- 一、植付面積 七、四〇一英反
- 一、採收面積 五、一六四英反
- 一、未採收面積 二、二三七英反
- 一、一箇年生産可能量（一等品） 二、二七二、〇〇〇封度

を擁し南洋に於ける邦人栽培事業界一方の雄たり。

園の手入れも申分なく、傾斜地帯にはカバト・プラントとして羊齒の培植を試みつゝあり。

採收林は大體十年乃至二十年木に至る。壯盛樹の關係もあれど、出液量極めて豊富にして英反當り生産量平均四百五 封度以上に達す。同地方は一般に土質護謨樹に適し、獨り當社園に限らず他園も出液量に富む。

同社は昭和二年十一月聯合馬來護謨株式會社を合併したる結果、その所有園は二十八箇所に分散せられ、自然諸經費の點に於て甚しく不利益を免れず、護謨不況に處する對策としては生産費の低下以外には良法なく、且つ同社は負債を有し常に資金難に悩まされ居る状態にあるを以て、時機を見て小園を有利處分し園の整理並に負債の整理を爲すことを要す。

(ロ) 小護謨園

前述の如く、同地方邦人小護謨園は大正十年糾合せられて聯合馬來護謨株式會社を組織したるが、當時合併に参加せざりしものもあり、亦會社合併後再び新規小園經營を企圖したるものもありて、現在尙共同經營をも含み十四名、其所有面積左記に及ぶ。

- 一、拂下總面積 二、三五三英反
- 一、植付面積 一、一六一英反
- 一、採收面積 六〇七英反
- 一、未採收面積 五五四英反



一、未開墾地

一、一九二英反

これを經營者別に詳説すれば左の如し。

園所有者氏名	所在地	面積	樹齡	負債の有無	備考
坂口喜平	ネグリ・スマラン州 パンタイ	一八一	採取園樹齡不詳	數萬弗と想像せらる	本園はチツターと共同經營なり
小岩井靖	ネグリ・スマラン州 ロムピン	三〇一	二年木	負債なし	
同	同	一、一九二	森林	負債なし	
同	パハン州メンテカッ	一四二	五年六箇月	負債なし	小岩井、廣谷、西部三氏共同園
日本エステート	ネグリ・スマラン州 バハウ	二五三	三年木	貳萬弗	大隅、松永、朝永共同園
細浪ミツノ	ネグリ・スマラン州 アンパンガン	五三	十九年木	負債なし	
烏田經太郎	パハン州コアラ・カラ	四九	採取園樹齡不詳	昨年頃迄六千弗の負債あり其後借増したるものゝ如し	
大平仁三郎	ネグリ・スマラン州 コアラ・ピラ	五〇	九年木	負債なし	
吉兼直次郎	ネグリ・スマラン州 リンギ	四三	採取園樹齡不詳	負債なし	
糸田イサ	ネグリ・スマラン州 シエレブウ	五四	八、九年木	一萬弗	内六英反は親戚のものゝ名義
中原藤夫	ネグリ・スマラン州 バカラ・カンパス	三五	採取園樹齡不詳	負債なきものゝ如し	

右各園中細浪、大平兩園は負債もなく、然かも全園採收林にして出液量も多く手入も行き届き、護謨不況の今日なれど之れが維持經營に何等苦痛なきもの、如し。

小岩井園はこれ迄負債もなく且つ園主小岩井氏はスレンバンに小岩井醫院を經營し、内外人の信用篤く園經營に付資金上の懸念なかりしが、本年同氏所有ロンピン園三〇一英反、隣接地に森林一、一九二英反拂下許可を受くるに及び、先づ其プレミアム四萬八千弗（二英反當四十弗）の支拂を要すること、なり、目下之れが金策講究中なり。

日本エステートは、舊聯合馬來護謨株式會社の四有力者（當時の重役大隅、松永、松尾、朝永―朝永誠三氏未亡人―の諸氏）の共同經營にかゝり、國道に帶狀に沿ひ地位地味共に申分なく、先般來西洋人筋より賣却交渉を受けつゝあるが、右經營者も引續く財界不況の爲め今後の園維持經營資金に困難を感じ居る際にもあり、賣却希望を有し折衝中なり。本園勘定を以て現在チツターより借入金をも有す。坂口、烏田、吉兼、糸田各園は何れもチツターより多額負債を有し、金繰りに困難を極めつゝあり。

次に、同地邦人雜貨商店としては芙蓉商會と廣谷商店の二軒あり。前者は舊聯合馬來護謨株式會社々長朝永誠三氏外數氏の共同出資にかゝり、馬來半島に於ける邦人商店としては最も有力なるもの、一にして、排日ボイコット以來は極力西洋人方面に得意先を開拓し、其關係にて漸次歐洲品を

も取扱ふに至れり。

廣谷商店は當初理髮店として立ちたるものなるが、其後雜貨をも仕入れ現在は二業を兼營す。同市には、邦人雜貨商尙一軒開業の餘地ありと稱せらるゝ、丈に右兩雜貨店も不況の折兩乍ら相當賣上を有し、殊に芙蓉商會は現在店舗買収の計畫にて準備金の積立を爲しつゝあり。

同地銀行としては、Chartered Bank 及 Ho Hong Bank の二支店あるも、銀行取引を有する邦人は極めて少數なり。

(五) コーラ・ピラ (Kuala Pilah)

同地は、サルタンの所在地にして馬來人の都とも申すべく、こゝに在留する邦人約十名之を職業別に見るとききは左の如し。

- 一、雜貨商 一軒
- 二、齒科醫 一軒
- 三、洗濯屋 一軒

右の内雜貨店は厚東商店と稱し、新嘉坡仲川商店援助の下に一昨年の開店にかゝる。専ら馬來人を顧客とし業務順調に在るも、昨今は打續くゴム不況の爲め馬來人の購買力薄く一杯々々の状態に在るも、土地柄排日ボイコットも恐るゝに足らず、將來業務發展を豫想せらる。

(六) コーラ・ランボ (Kuala Lumpur)

聯邦州統監所在地にして、人口約十五萬こゝに在留する邦人約四百名にして、之を職業別に見るときは左の如し。

- 一、醫師 二名
- 二、齒科醫 三名
- 三、雜貨店 四軒
- 四、護謨栽培業 四名
- 五、寫真業 三軒
- 六、寫真業兼雜貨店 三軒
- 七、理髮店 五軒
- 八、洗濯業 三軒
- 九、大工業 三名
- 十、婦人服仕立 一軒
- 十一、菓子店 一軒
- 十二、貸自動車業 一軒

十三、ホテル及飲食店

二十三軒

十四、娼家

七軒 (娼婦三十五名)

右の内、雜貨店としてはロビン商會、橋詰商店を代表的のものとし、前者は西洋人を、後者は馬來人を主たる顧客とするも、一般的不況に災ひせられ業勢不振なり。

婦人洋服裁縫店として木谷商店あり、専ら西洋人を相手とし盛況を呈し居るも、チャッターに多額負債ありて金繰り相當困難の様なり。

當地銀行としては、Hong Kong & Shanghai Bank, Chartered Bank, Mercantile Bank, Oversea Chinese Bank, 廣益銀行の五行あり、邦人の取引銀行は主として Hong Kong & Shanghai Bank なり。

(七) ラワン (Lawang)

コーラ・ランボの北方二十哩に位する小邑にして、邦人としては藥種商 (兼業として護護園二十五英反を經營す)、寫真屋 (兼業として護護園三英反を經營す)、娼家各一軒あり。微々として振はざるも、廢娼以前には在留邦人五十名を算したり。

右の内、代表邦人たる藥種商も近く所有園賣却の上歸朝の豫定なりと聞く。早晚邦人の影を止めざるに至るべし。

(八) コーラ・クボ (Kuala Kubu)

前項ラワンの北方にある小邑にして、同地には長谷川義男なる者あり。目下臺灣總督府中央研究所並に愛知縣より種紙を取寄せ養蠶の研究中なり。曩に桑畑とすべく森林三八一英反拂下を受けたるも、先年火災に見舞はれ爾來チャッター方面の信用も失ひ、資金難の爲め事業に著手することも出ざる状態にあり。

當地も廢娼以前には在留邦人百名に達し活況を示したるが、今日は長谷川氏一家によりて僅に往年の名残りを留めるのみ。

(九) キリリン (Kerling)

コーラ・クボ北方のキリリンには、左記の通り

天南園	一二〇英反
佐竹園	七〇英反
田中園	五〇英反
江浦園	三八英反
金子園	五三英反
中村園	一八英反
龍田園	一三英反

今村園	三二英反
佐藤園	一〇英反
石本園	五英反
島田園	三英反
吉村園	二七英反
村上園	二〇英反
村里園	一七英反
長谷川園	二〇英反
方木園	二五英反
計	一七園 五四六英反

邦人小園散在し、最近吉林護謨栽培信用組合を組織す。

園は二、三若木園(四年木)あれど、他は全部十年乃至十五年木にして小園乍らも手入れ行き届き居れり。

右の内十名計約二七〇英反に付チツテより合計約四萬弗の負債を有す。

未だ利拂不能の程度迄には至らざるも、引續く護謨價不況の爲め漸次困難を感ずる事と懸念せら

る。

小園乍らも右全園五月休採に加盟せり。

(十) イボウ (Ipoh)

錫の都にして、コーラ・ランポに次ぎ半島第二の都會なり。近年の發展目覺しきものあり。一般的不景氣特に錫、ゴム共に不況のどん底にある今日にも不拘、市中も目立て活況を呈し「取價非常相宜」「認真減價」等の長旗を翻せる支那人商店は、何れも千客萬來の賑ひを示し居れり。

同市に在留する邦人約百名之を職業別に見るときは左の如し。

一、雜貨店	三軒
二、醫師	一名
三、齒科醫	四名
四、クリーニング	三軒
五、理髮店	二軒
六、自動車修繕業	一軒
七、ホテル	五軒
八、飲食店	二軒

九、マツサージ

二軒

十、娼家

九軒（娼婦三十人）

右の内雜貨店は原口、森谷、紺谷の三商店にして、原口商店を以て代表的のものとす。紺谷商店は新嘉坡仲川商店後援の下に昨年の開店にかゝり、森谷商店は傍ら護謨園八英反を經營す。何れも馬來人を顧客とするも、護謨不況の爲め彼等の購買力貧弱にして自然商勢不振なり。

中に就き、森谷商店はイボウに於ける邦人事業界の草分けなるが、目下新嘉坡邦人の雜貨卸商に對する掛買代金支拂困難の状態にあり。其の買付先は十二軒、新嘉坡に於ける邦人雜貨卸商の殆んど全部を網羅す。

右代金の支拂問題は本年初め頃より起り居りたるもの、如く、其の所有護謨園も既に處理済にして、新嘉坡債權者團としては幾何の回收も得られざるもの、如し。今後の半島雜貨商と新嘉坡卸商との取引上甚だ面白からざる事件とす。

當イボウ市を中心とし附近錫の大産地にして、同市在住支那人富豪の殆んど全部は錫鑛經營の成功者なり。

好況當時邦人の之れに従事するもの相當ありたるが何れも失敗に歸し、現在は高木某なるもの貳千弗の出資金を以て支那人と共同し、順發公司なる名稱の下に本事業に参加し居り、最近有望なる

鑛脈掘當てたる由にて目下採集設備の工事中なり。錫の含有分量は所謂引合含有量に數倍し居るも鑛脈の大きさは全然不明なり。

原口商店主も目下獨力にて錫採掘事業計畫中なり。當地銀行としては H'kong & S'wai Bank, Chartered Bank, Mercantile Bank. の三行あるも、邦人は一、一 H'kong & S'wai Bank を利用するに過ぎず。

當地竝に第十三項に於けるタイピン兩市在留邦人間には、古くより博奕（花合せ）盛んに行はれ邦人の經濟的發展を阻害する事著しく、同地方の心ある人々もこの惡風に痛心し居れり。

(十一) カンパール (Kampar)

イボウ市の南約三〇哩に在り、錫の産地なり。新興都市にして活氣あるも、在留邦人としては僅に雜貨商一軒、娼婦二軒あるに過ぎず、微力特筆すべきものなし。

(十二) シテアワン (Sitawan)

同市は、人口三千程度の小邑にして附近護謨園の中心都市なるが、護謨不況の爲め市況沈滞を極め居れり。

在留邦人二十二名にして、之が職業別左の如し。

一、雜貨店

一軒

- 二、理髮店 一軒
- 三、寫眞業 一軒
- 四、クリーニング 一軒

雜貨店は川原商店と稱し専ら馬來人を顧客とし、別に護謨園、椰子園(未成園)三十五英反を經營するも、不況に災ひせられ商店不振、園の手入も十分ならず苦心しつゝ、あり、他の三店も亦微々たるものなり。

廢娼以前には娼家一軒娼婦四人ありたるも、現在は完全に廢娼せられ當時の四人は外妾として生活し居れり。

當地銀行としては Chartered Bank の出張所あるのみ。

(十三) タパー (Tappah)

同地はコーラ・ランボ、イボウの路中間に位し、附近護謨園の發展に連れ發達し來れる小邑にして、在留邦人としては

- 一、玉突屋 一軒
- 二、寫眞業 一軒
- 三、ホテル 一軒

右三軒二十名にも足らざるも、附近に小護謨園の經營せらるゝものブルアスをも含め、

- 一、竹内 泰平園 五二英反
- 二、竹内 繁治園 一八英反
- 三、竹内、島崎園 一一英反
- 四、河野 元藏園 二六英反
- 五、川崎志免造園 七八英反
- 六、森川平三郎園 二二英反 (ブルアス)
- 七、井上義次郎園 四五英反 (ブルアス)

合計七名二五二英反に達す。

右園擔保にてチッター支那人等よりの借入金合計八萬弗に達し、何れも之れが利拂ひに困難を極めつゝあり。就中井上園、川崎園の兩者は多額の負債に達し、現状のまゝにては園の維持經營は困難と認めらる。

各園の手入れも資金難の爲め思ふに任せず、中には護謨園にとり最も恐るべきララン草(茅科植物)を發生せしめたるものさへあり。

(十四) タイピン (Taiping)



イボウ、ピナン兩市の間位置し、人口貳萬餘古く開けたる都にして、ペラ州の首府なり。附近都市が不況の折柄にも不拘新興氣分漲り居るに反し、如何にも市中活氣なく古都の感を深くす。こゝに在留する邦人四十七名(郊外を合せ約七十名)、職業別左の如し。

- 一、齒科醫兼雜貨商 一軒
- 二、齒科醫 一軒
- 三、寫真業 三軒
- 四、理髮店 二軒
- 五、コイヒー店 一軒
- 六、仕立物屋 一軒
- 七、ホテル 三軒
- 八、娼家 六軒 (娼婦十七名)

右の内、唯一の雜貨店佐藤商會は佐藤齒科醫の兼業にかゝり専ら馬來人を顧客とす。理髮店を經營する芝下留三郎並にホテル業を營む澤田政太郎の兩氏は、本業の傍ら前者は十五英反、後者は三十英反の護謨園を經營す。

尙同市より十五哩を隔たる Batu Kraai に在住する小林貞助氏は、護謨園十八英反を經營する傍

ら土人より *Pebel Nut* (馬來語にては *Pinang* と云ふ) を買集め彼南港に送り出しつゝあり。

不況の爲め邦人業勢何れも不振徒らに博奕のみ振ひ居るもの、如し。

同地方の護謨園は、スレンバン、コイラ・ランボ方面のそれに比しゴム樹の發育振り著しく劣り、園の賣買價格も同條件の採收林に於て英反當り百弗程度の開きあるもの、如し。

(十五) ピナン (Penang)

彼南政廳の所在地にして、人口十八萬餘、歐洲・東洋航路並に新嘉坡、爪哇、スマトラ航路の寄港地として逐年發展を續け、こゝに活躍する邦人百七十八名、之を職業別に見るときは左の如し。

- 一、醫師 三名
- 二、齒科醫 四名
- 三、雜貨店 五軒
- 四、賣藥店 三軒
- 五、ホテル 六軒
- 六、理髮店 三軒
- 七、寫真屋 二軒
- 八、染物屋 二軒

- 九、剥製屋 二軒
- 十、菓子店 一軒
- 十一、マツサージ 三軒

右の内、雜貨店としては奈良、大佛、稻置、大阪商店を代表的のものとし何れも相當活躍しつつ、あるも、一般的不況に災ひせられ賣掛代金回収思はしからず、何れも金繰りに相當困難を來し、中にも大阪商店は新嘉坡邦人卸商との間に爲替決濟難に陥り、其打開策の一方法として時々シテアワシ、タバコ等の小都市に出張販賣を試み、一地に約二週間滞在貳千弗 後の賣上を爲し極力難局に善處すべく腐心しつつ、あり。

同地に於て特筆すべきは、臺灣人巫文造、巫文進兄弟の活躍にして、ゴム園採收林二七〇英反、椰子園採收林二二六英反を經營し、其他藥房、書店、貸家業(三十六軒)を手廣く營む。藥房には臺灣醫專出身の顏厚生氏を招聘し診療に當らしむ。

巫氏兄弟も一九二五、二六年の護謨好況當時手を擴げ過ぎ、所有エステート竝に家屋を擔保としチャッター支那人方面に巨額借入を爲し相當高利に悩まされつつ、あり。

加之、最近同地一流チャッター M. M. 破産の結果、チャッター資金の主たる供給者たる支那人富豪の警戒一層厳しく、爲めに巫氏等も一層金融上の壓迫を感じ居るもの、如し。

同地邦人により經營せらる、エステート左の如し。

- 巫文造護謨園 二七〇英反 (ケダ州)
- 巫文進椰子園 二二六英反 (彼南島)
- 荒木竹三護謨園 二二英反 (プロビンス・ウエルスレイ)
- 山田新助護謨園 四九英反 (プロビンス・ウエルスレイ)
- 山田新助椰子園 一〇英反 (プロビンス・ウエルスレイ)
- 大山辰二護謨園 一三一英反 (ケダ州)

(イ) 巫氏兄弟所有護謨園竝に椰子園

一、護謨園

ケダ州クリム市より七哩の地點にあり、二七〇英反の面積を有し全園採收林なり。相當急傾斜なれど手入れよく行届き、一九二九年度に於ける總生産量一六〇、八六四封度に達せり。

二、椰子園

彼南島の西海岸に面し、面積二二六英反椰子樹一三、五〇〇本を植林す。樹齡別竝に生産状態左の如し。

一、樹齡別



十五年木以上	一、五〇〇本
十年木	四、〇〇〇本
八年木	二、〇〇〇本
六年木	四、〇〇〇本
四年木	二、〇〇〇本
計	一三、五〇〇本

二、生産状態

年 度	採 收 数	採 收 Nuts	收 Cupra
一九二九年	六、〇〇〇 <sub>本</sub>	四〇〇、〇〇〇 <sub>個</sub>	一、六〇〇 <sub>担</sub>
一九三〇年	七、〇〇〇	四八〇、〇〇〇	一、九二〇
一九三一年	八、五〇〇	六〇〇、〇〇〇	二、四〇〇
一九三二年	九、五〇〇	六八〇、〇〇〇	二、七二〇
一九三三年	一一、五〇〇	八〇〇、〇〇〇	三、二〇〇
一九三四年	一二、〇〇〇	八五〇、〇〇〇	三、四〇〇
一九三五年	一三、五〇〇	九〇〇、〇〇〇	三、八〇〇

本園目下各列に排水溝の設置作業中にして、完了の上は生産量著増豫想せらる。

前述の如く、巫氏兄弟の彼南財界に於ける活躍は栽培業、藥房(醫院兼營)、書店、貸家業等の廣範圍に亙り、邦人として他に其比なきも負債も亦巨額に達し、而して右護護園竝に椰子園は擔保として提供せらる。

(ロ) 荒木竹三園

プロビンス・ウエルスレイのニボン・テバル市に近く、總面積二十二英反全園採收林なり。大正二年四千八百弗にて買收せるものなるが、今日は負債を有し利率一箇月一分二厘目下利拂に困難を極めつゝあり。

(ハ) 山田新助園

プロビンス・ウエルスレイのフキ・マタジヤム市より三哩半面積五十九英反半にして、内十英反は椰子を栽培す。護護園は全部採收林にして、一萬六千封度の年産量を有し手入れも普通なり。椰子園は資金難の爲め一部ラランを發生せしめたるが目下極力清掃中なり。Coconut 二千四百箇の年産量を有す。本園は大正十五年壹萬六千弗にて買收したるものなるが、現在本園擔保にてテッテより借入金をも有す。同氏は本業として彼南市に朝日ホテルを經營し、歐洲航路の邦人寄港客は多く右ホテルを利用すれど、引續く不況の爲め宿泊客も尠く負債の整理に尠からず困難を感じつゝ、

あり。

(二) 大山辰二園

同氏園は第一園、第二園に分る。

第一園 六十六英反半

(所在地 ブキ・マタジャム)

本園はマチャンブーブーと稱する小邑の一部を爲し國道に沿ふ。近き將來に於て商店、工場、住宅地となるべきものと豫想せしむ。

面積六十六英反半の内、五十英反は採收林にして園内手入れも行届けり、残り十六英反は三年一五年木の未採收林なり。

第二園 六十四英反半

(所在地 クリム)

本園の中央を國道貫通す、約五英反を除き全部採收林にして手入れ亦行届けり。目下右五英反の若木園手入中なり。本園は同氏義弟の所有園なりしが、義弟失敗歸國に際し多額負債付きのまゝ、大山氏引受けたるものなり。

大山氏は右第二園引受けたると、それに先だち彼南市に住宅買收せる爲め現在チッターに相當額の負債を有し、之れが利息のみにも毎月大なる支拂を要し、ゴム價不味の今日兩園の維持經營に不尠苦心しつゝ、あり。

以上の如き事情により、彼南在留邦人により經營せらるゝエステートは、此際何等かの救濟策を講ずるに非ざれば、近く市況の回復を見ざる以上早晚手放すの不得止るに至るべきことを恐る。尙當地は先年廢娼と同時に公娼としての邦人婦人はその姿を消したれど、現在は私娼の形に於て七軒約十六名殘留す。

(十六) ポート・スイテンハム (Port Sweet nham)

馬來半島西海岸の要港にして、首府コーラ・ランボに近く半島物産の重要輸出港たり。こゝに在留する邦人としては、僅に雜貨商兼ホテル一軒、娼家一軒(娼婦二名)あるに過ぎず。

(十七) クラング (Klang)

ポート・スイテンハムより一哩、コーラ・ランボに至る鐵道竝に國道に沿ふ。近年の發展著しく、こゝに在留する邦人約七十五名郊外をも合する時は百名に達す。之れが職業別左の如し。

- 一、雜貨商 三軒 (内一軒は寫真業兼營す)
- 二、寫真業 一軒
- 三、動物剥製屋 一軒
- 四、醫師 一名
- 五、齒科醫 二名

六、娼 家

三 軒 (娼婦十四名)

右の内雜貨商は大和商會、尾崎商店を代表的のものとし、前者は寫真器材料を取扱ふ關係にて近時西洋人の顧客増加し尾崎商店は馬來人を好得意とす。

當地邦人の有力者は日本人會長桑山ドクトルを始めとし、比較的土着年限長く支那人方面とも日常懇親の關係に在りし爲め、排日ボイコット當時も他地方に比し其氣勢緩なりしと聞く。今日ボイコットも既に終熄したれども、ゴム不況の爲め邦人の商勢未だ不振なり。

當地銀行としては Chartered Bank 支店あり。

(十八) ポート・デクソン (Port Jackson)

スレンバン市より約二十哩風光明媚の海岸に臨み、近年別莊地として名聲を擧ぐ。

こゝに在留する邦人十二三名にして、之れを職業別に見るときは

- 一、ホテル 一軒
- 二、娼 家 一軒
- 三、貸別莊 一軒

の三軒に過ぎず。

(十九) マラッカ (Malacca)

同市はマラツカ州の首府にして人口三萬(一九二一年人口統計)、コレラ・ランボ、イボウに次ぎ半島第三の都會なり。

古く發達せる西海岸の要港にして、往時歐洲航路の N. Y. K. Mail も寄港したり。

こゝに在留する邦人五十二名、之れが職業別左の如し。

- 一、醫 師 一名
- 二、齒 科 醫 二名
- 三、寫 真 業 二軒
- 四、ホ テ ル 三軒
- 五、雜 貨 商 二軒
- 六、ク リ ー ニ ング 一軒
- 七、菓 子 店 一軒

右の内雜貨店は井筒、志村の兩商店にして、西洋人、馬來人を顧客とせるも不況の爲め商勢不振なり。殊に井筒商店取扱の本邦美術品の如きは賣行き皆無の如し。

當地は廢娼完全に履行せられ、現在邦人の娼家一軒もなきのみならず、一人の私娼もなし。今日外妾として生活するもの約十名あるが、こゝは當時の娼婦の名残りなりとす。

當地銀行としては Hi'kong & S'hai Bank あり、尙最近 Ho Hong Bank 支店を開設せり。

(二十) タンピン (Tampin)

スレンバン、マラツカ兩市の中間に位し戸數百軒にも満たざる小邑なるが、附近護謨園の中心都市たり。こゝに在留する邦人も

- 一、寫眞業 一軒
- 二、貸自動車業 一軒
- 三、洗濯業 一軒
- 四、娼家 一軒 (娼婦五名)

に過ぎず、財的に未だ見るべきなし。

(二十一) モア (Muar)

同市はマラツカ、バト・パハ兩市の中間に位する小港にして、在留邦人五十五名モア管内を合すれば百名に達すべく、之れが職業別左の如し。

- 一、雜貨商 四軒
- 二、醫師 二名
- 三、寫眞業 一軒

四、玉突屋

二軒

五、ホテル

二軒

好況當時は在留邦人二百五十名に及び、娼家も十軒(娼婦六十名)に餘り盛況を呈したるが、廢娼と同時に之等娼婦は完全に一掃せられ、それに連れ邦人の經濟的勢力も漸次衰微に向ひたり。

現在雜貨商は池崎兄弟商會、森商店、酒井商店を代表的のものとす。不況の折柄何れも相當苦心し居れるも、之等雜貨店主竝に寫眞館主計五名共同にて護謨園六十四英反半を經營す。全部採收林なり。本園買收當時の負債は既に完済し、今日は毎月若干の配當をなし居れり。目下本園を基礎とし更に百英反乃至百五十英反の採收林買收計畫中なり。

第三、其他の各地に於ける邦人護謨園現況

一、キリリン地方邦人護謨園

園名	總面積	植付面積	採收面積	推定年産額
天南園	120	120	120	54,000
佐竹園	70	70	70	28,000
田中園	50	50	50	22,500
江浦園	38	38	38	15,200
金子園	38	38	38	15,200
中村園	18	18	18	7,200
龍田園	13	13	13	5,200
今村園	32	32	32	12,800
佐藤園	10	10	10	4,500
石本園	5	5	5	2,000
島田園	3	3	3	1,000
吉村園	27	27	27	10,800
村上園	20	20	20	8,000
計	521	521	461	193,400

(四年木)

園名	總面積	植付面積	採收面積	推定年産額
村里園	17	17	13	5,200
方木園	25	25	25	10,000
長谷川園	20	20	20	8,000
計	521	521	461	193,400

右園中、天南園の國道に沿ひ地勢緩傾斜を爲す、ゴム樹を十年木以上にして其の發育振り良く、園内亦清掃状態にして馬來半島邦人個人園中の優良園の一なり。

生産量も英反當り四百五十封度以上にある。

他の小園は天南園を中心とし附近に散在す。何れも緩傾斜地帯なり。ゴム樹は金子、島田兩園並に村里園の一部の四年木なるを除き全部十年以上十五年木にして、此地方一帯に土壤ゴム樹に適するもの、如く、其の發育振り亦何れも良好なり。園監督は何れも園主自ら之れに當り一般に手入れも行届き清掃状態にあり。

二、タパー地方邦人護謨園

園名	總面積	植付面積	採收面積	推定年産額
竹内園	52	52	37	18,500

園主名	總面積	植付面積	採收面積	推定年産額
竹内繁治	一八	一八	九	四、五〇〇
竹内、島崎共同園	一一	一一	一	(四年乃至五年木)
河野元藏	二六	二六	二六	一三、〇〇〇
川崎志免藏	七八	七八	七八	三九、〇〇〇
森川平三郎	二二	二二	二二	一一、〇〇〇
井上義次郎	四五	四五	三〇	一六、〇〇〇
坂井伊代松	四〇	四〇	四〇	二四、〇〇〇
計 (八園)	二九二	二九二	二四二	一二六、〇〇〇

竹内泰平園、河野園は一部急傾斜地帯にして、其他は何れも平坦若くは緩傾斜を爲す。各園共資金難の爲め急傾斜地帯にも砂防溝の設備なく、平坦地にもランを發生せしめたるものある等手入十分ならず。されど同地方も出液量豊富なるもの、如く、年産量英反當り何れも五百封度乃至六百封度を示す。

尚竹内兩園並に井上園の未採收林は何れも三年乃至五年木なり。

三、スガマ地方邦人護謨園

園主名	總面積	植付面積	採收面積	推定年産額
太田茂一	二〇 <small>英反</small>	二〇 <small>英反</small>	二〇 <small>英反</small>	八、〇〇〇 <small>封度</small>

園主名	總面積	植付面積	採收面積	推定年産額
片山貞義	一四	一四	一四	五、六〇〇
北川正長	一〇	一〇	一〇	四、〇〇〇
豐田安太郎	一八	一八	一八	七、二〇〇
計 (四園)	六二	六二	六二	二四、八〇〇

右園は全部十年木の採收林にして、スガマ附近に散在す。地勢何れも緩傾斜を爲しゴム樹の發育良好なり。

太田、片山兩氏は大工を本職とするも自ら園の監督に當り、亦豐田氏は園經營を專業とし常時園内に在り、自然園の手入れは何れも行き届けり。生産状態は大體英反當り四百封度見當とす。

四、バト・アナム邦人護謨園

園主名	總面積	植付面積	採收面積	推定年産額
竹田ゴム園	一八 <small>英反</small>	一八 <small>英反</small>	一八 <small>英反</small>	七、二〇〇 <small>封度</small>
荒木又七	二二	二二	六	二、四〇〇
計 (二園)	三〇	三〇	二四	九、六〇〇

兩園共緩傾斜を爲せる高地園にして、園内手入、ゴム樹の發育振り共に普通程度なり。

1424  
478

五、タイピン地方邦人護謨園

園主名	總面積	植付面積	採收面積	推定年産額
澤田政太郎	三〇 <small>英反</small>	三〇 <small>英反</small>	三〇 <small>英反</small>	九、〇〇〇
芝下留三郎	一五	一五	一五	四、五〇〇
小林貞助	一八	一八	一八	五、四〇〇
計 (三園)	六三	六三	六三	一八、九〇〇

右園はタイピン市附近に散在し、何れも平坦園にして手入れ普通程度なり。樹は何れも十年木以上なれど土壤ゴム樹に好適のものには非ざるもの、如く、其の發育振り香ばしからず。出液状態も英反當り平均三百封度程度に過ぎず。

馬來半島に於ける邦人經濟事情 (終)

1/5 QAA



終